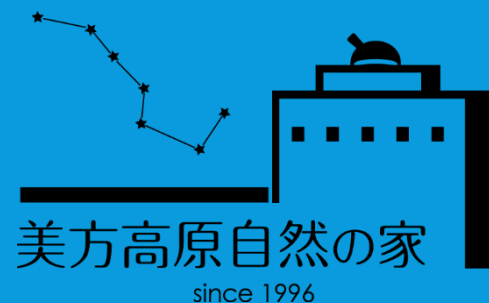
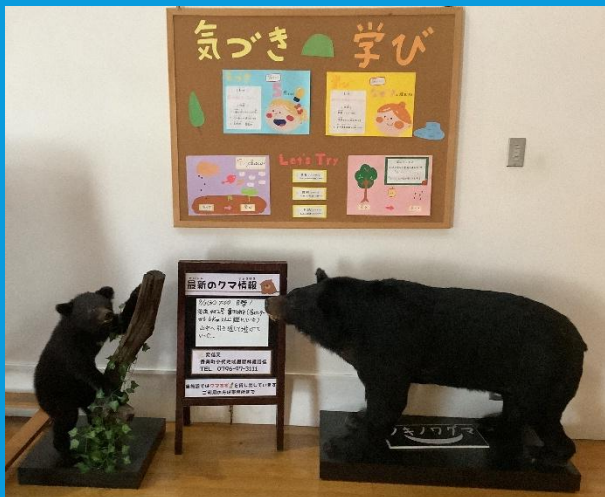
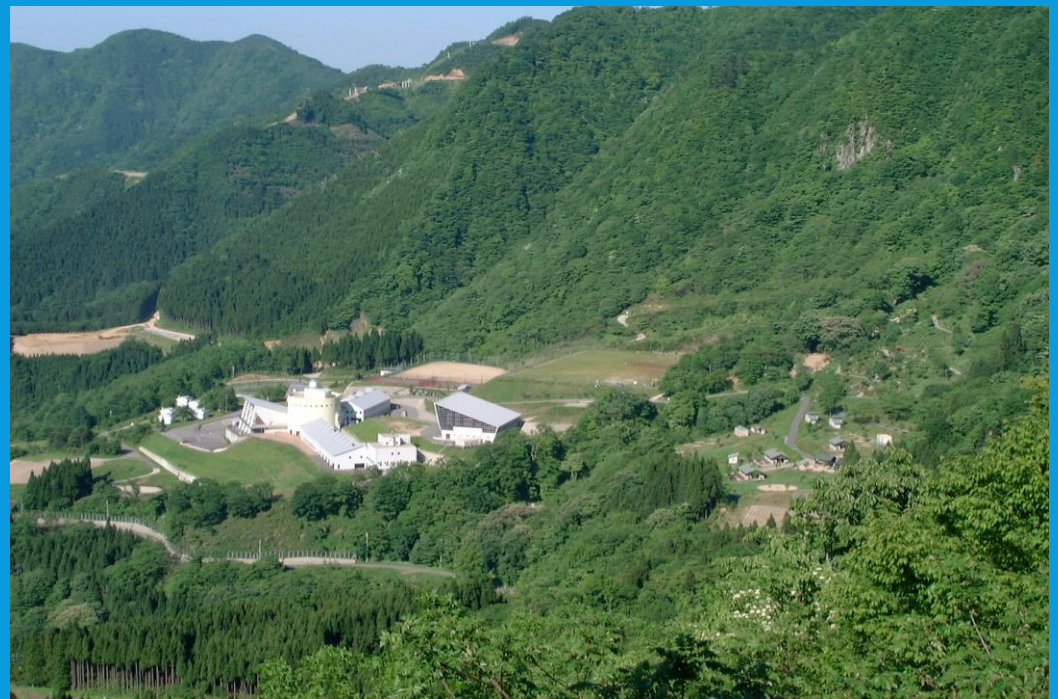


ツキノワグマとその対応

尼崎市立美方高原自然の家

西垣 幸造





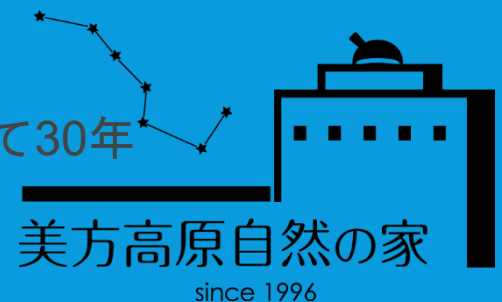
自己紹介

氏名：西垣幸造（にしがきこうぞう）

勤務：尼崎市立美方高原自然の家 所長

年齢：59歳 B型 やぎ座

経歴：自然の家開館時から勤務して30年



ツキノワグマとは

- ・ 日本に生息する唯一のクマ類（北海道を除く）
- ・ 雑食性で人を積極的に襲う動物ではない

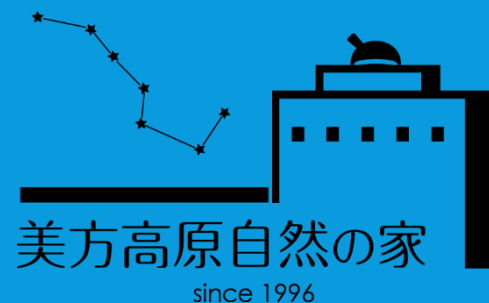
生態と行動

- ・ 嗅覚が非常に発達
- ・ 朝夕に活動が活発
- ・ 初夏に行動範囲が拡大



人身事故が起こる要因

- ・ 突然の遭遇
- ・ 子グマへの接近
- ・ 人為的食物資源（生ごみ、農作物等）の捕食経験
※誘引の最大の原因となる



遭遇を防ぐ予防策

- ・ 事前

地域の熊目撃情報を確認する。

施設周辺のクマがひそみやすいヤブや草むらを刈り取り、近寄りにくい環境を作ります。

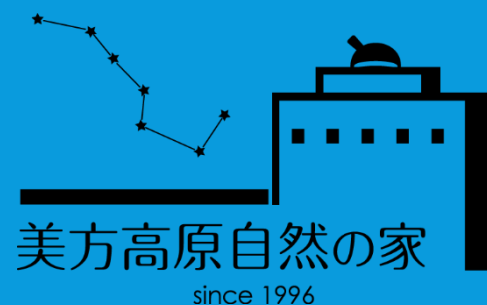
施設周辺のオオシマザクラ、ヤマザクラ、オニグルミ、エゴノキ等実が生る樹木に、必要に応じてトタンを巻きつけるなど防護します。

- ・ 当日

複数人で行動

鈴やラジオ等で存在を知らせる

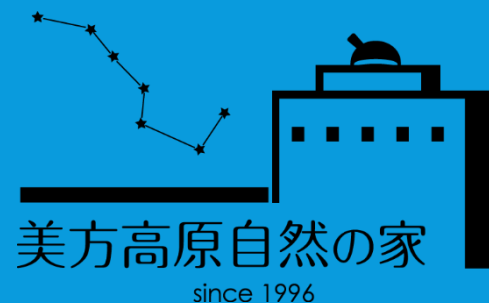
食べ物を放置しない（人為的食料経験をさせない）



遭遇した時の対応

万が一、熊と出会ってしまったら

- ・ 大声を出したり、走ったりするのは、かえってクマを興奮させます。
- ・ 落ち着いてよく状況を判断してから、
- ・ 刺激をしないように、その場から立ち去りましょう。



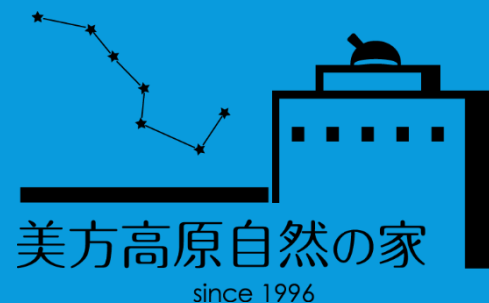
遭遇した時の対応

熊がまだ気づいていない場合

- ・ 熊に気づかれないように静かに後退してその場を立ち去りましょう。

熊が気づいている場合

- ・ 静かに後退して、その場を立ち去りましょう。



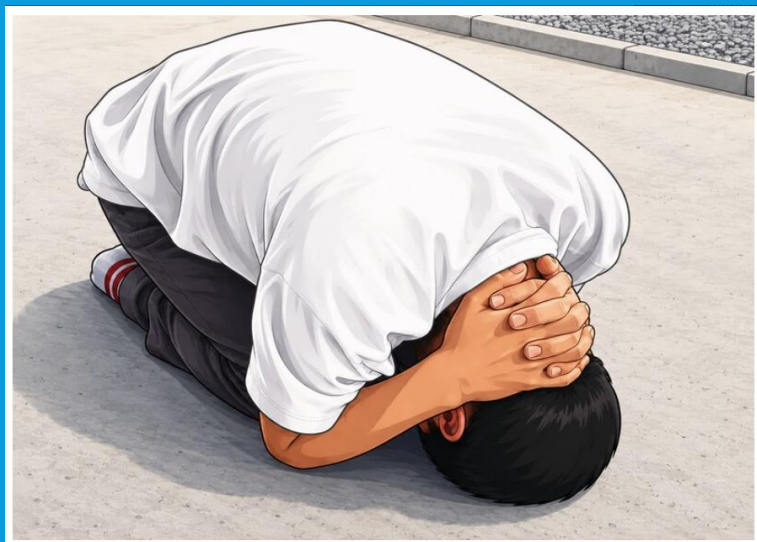
遭遇した時の対応

向かってきたら（威嚇突進）

- ・ 多くの場合は、突進の途中で止まり後退するか、目前でUターンをして逃げていきます。
- ・ 落ち着いて、クマとの間に障害物（立ち木など）が来るようにゆっくりと後退しましょう。

熊が襲ってきた場合（攻撃突進）

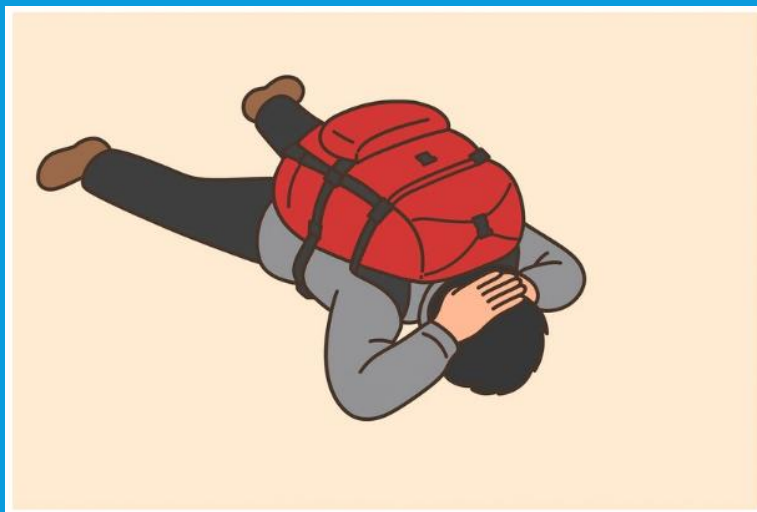
- ・ 致命傷を避けるため、地面に伏せ、両手で首の後ろをガードするなど、
- ・ 腹、首、頭を守ってください。



致命傷となる首、頭部、腹部を守るため、首の後ろに手をまわして守る。

転がされて仰向けになりそうになっても、転がされた勢いで防御姿勢にもどること。

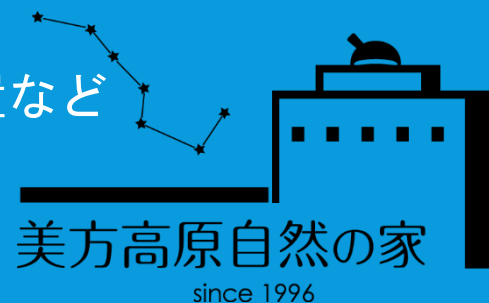
リュックサックやヘルメットを着けていると、ダメージを軽減できる。



万が一の攻撃された場合 防御姿勢 顔面・頭部が攻撃されることが多いため、両腕で顔や頭をおおい、地面にうつ伏せになって、体のダメージを最小限にとどめることが大切です。

尼崎市立美方高原自然の家での対応

- ・ 人為的食料資源を経験させない。（利用者へのお願い）
 - 生ごみ、食料包み紙の放置をしない
 - 炊事場の洗い場、排水桝にも生ごみを残さない
- ・ 目撃情報共有（兵庫防犯ネット、香美町役場小代地域局）
 - ホームページや施設内の掲示板等
- ・ 公用車等による巡回強化
- ・ 6か所の自動撮影カメラによるモニタリング
- ・ 利用者への予防策と注意喚起と活動変更への柔軟な対応
- ・ クマスズ貸出、スタッフのベアホーン、ベアスプレー、トレッキンググポールの携行
- ・ 轟音玉等を用いた追い払い対応、クマ用の電気柵の設置など



啓発活動



とちのき村 クマ対策



とちのき村の施設周辺では、様々な対策を行っています

対策
No.1



車で巡回

外での活動前には必ず
車で追い払いをします

活動中も車で
巡回をしています

対策
No.2



カメラの設置

活動エリアに
定点カメラを設置しています

クマの出没状況を
日々確認しています

対策
No.3



ベアスプレー
トレッキングポール

施設職員はベアスプレー
トレッキングポールを
携行しています

スプレー使用の訓練も
おこなっています

対策
No.4



クマ鈴

施設職員はクマ鈴を
携行しています

クマ鈴の無料貸し出しも
おこなっています

熊の特性

ツキノワグマの食べ物
季節によって食べ物を選んでいます



ツキノワグマの1年間の暮らし

春～夏(6月～8月)

繁殖期

オスとメスが出会い
繁殖のために行動が活発になります

夏(6月～7月)

子別れ

子どもが成長すると
メスに追い出されます

初夏は行動範囲
が広がり
目撃が増加傾向

秋(9月～11月)

食欲が増す

冬眠に備えて
どんぐりなどの木の葉をたくさん食べます

冬(12月～2月)

冬眠・出産

冬眠中に穴の中で出産し
春まで子育てをします

公益財団法人日本アウトワード・バウンド協会
尼崎市立美方高原自然の家「とちのき村」

〒667-1532 兵庫県美方郡香美町小代区新屋1432-35
TEL. 0796-97-3600 e-mail: sora@obs-mikata.org

出没した時の対策

第1区分：香美町小代区で目撃、痕跡を発見
情報の収集に努め、施設利用者への情報共有と行動への注意喚起、ホームページでの情報公開

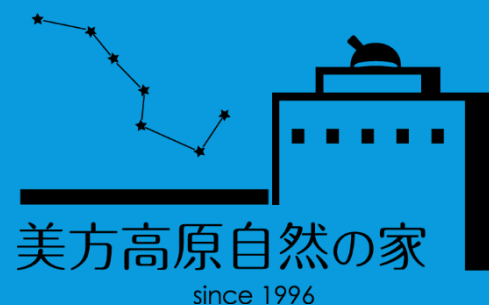
第2区分：施設周辺へ出没、痕跡を発見
誘引物の除去、進入防御（電気柵等）、追払い強化、活動の変更などの利用制限

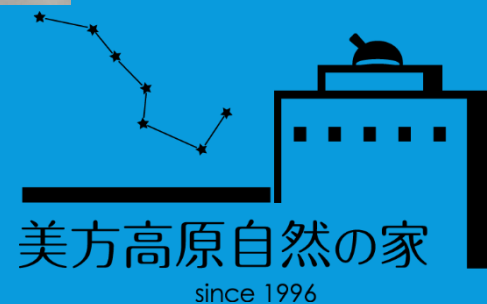
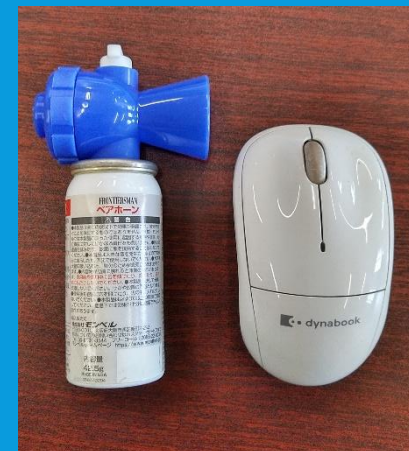
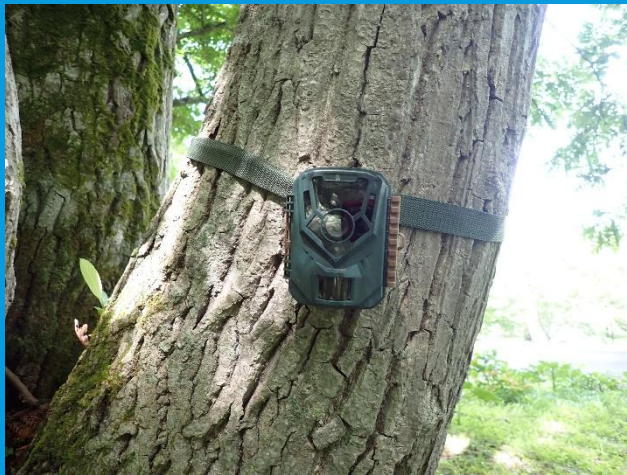
第3区分：防御や追い払いによっても執着するクマが出現
学習放獣を前提に関係機関に捕獲依頼

第4区分：学習放獣の効果がなく、再び出現
兵庫県、香美町と協議し、人と共存できない固体と判断し、処分を目的とし捕獲依頼

美方高原自然の家での実践例

- ・ 大型野生動物の対応について（ホームページ掲載）
- ・ 利用時のオリエンテーションによる諸注意
- ・ クマ目撃情報共有（ホームページと館内掲示）
- ・ 職員間連絡体制（無線等による状況、痕跡確認）
- ・ 活動エリアの追い払い巡回と安全確認
（公用車、徒歩による巡回）
- ・ 事故予防策のための装備携行（鈴、ベアスプレー等）
- ・ 野生動物追い払い研修の受講（兵庫県主催）
- ・ ベアスプレー使用研修
- ・ 自動撮影カメラ6か所 モニタリング調査



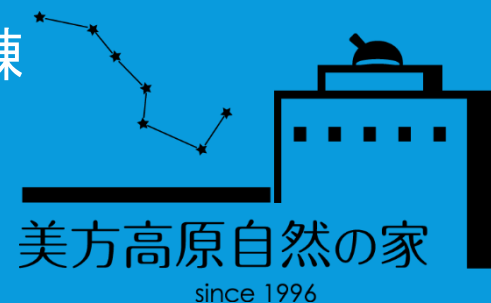


まとめ

- ・ 予防が最も重要
- ・ 正しい知識と冷静な対応で安全を確保

正しい知識や最新情報を得るために
当該地域の関係機関への問い合わせと連携

冷静な対応をするために、
正しい知識の習得と安全装備の携行や訓練



ご静聴いただき
ありがとうございました。

